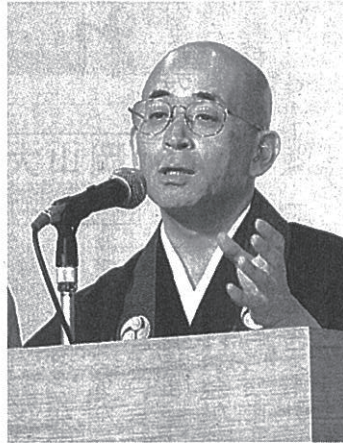


2009年(平成21年)7月9日 木曜日



祈りの大切さや寺の役割について話す片岡住職

### ま 祈りや寺院大切に

お 地域で活躍する著名人らの講演から、郷土の未来を考える「第52回おかやま適塾」が8日、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ホー

井原の片岡住職が講演した。井原市・成福寺の片岡良仁住職(55)が「祈りのカーお寺と地域おこし」と題して講演した。片岡住職は、祈りの

大切さを示す例として葬儀を挙げ、「流れ作業になり、別れの儀式としての精神性が失われている」と強調。枕経や通夜などを通じて故人との思い出に浸り、感謝の気持ちを持って祈ることで別れが実感できる、と呼び掛けた。

また、寺院の在り方について「地域の財産として見直そう」と提言。自身の寺での演奏会や子どもに地域文化を伝える取り組みを紹介し、「長い歴史を持つ寺院が中心となるこ

とで、その土地の特色を生かした活性化が可能になる」と話した。(宗宮正行)